

2024年11月
開講

心がほどけ、ひらいていく。人生の中の「余白の時間」
“フォルケホイスコーレ”をモデルにした

500年の学校



歴史と物語の深い谷戸に身をおくこと。

場や人と対話をする事。

自分を見つめたり、そらしたりしながら、人の心にふれたり、離れたりすること。

500年という悠々とした時の流れの中、自分が自然の一部であることに気がつき、いつのまにか心も身体もほどけていく。

継続的な営みの中で、豊かさに触れ、心の寄り道をしながら、わたしたちの「今、この時」を捉えなおす取り組み。

「YATO プロジェクト」の目指す500年先も続く、人の循環と賑わいの場を育む学校。それが『500年の学校』です。

500年の学校 ～おとなのためのフォルケホイスコーレ～



1年間プログラム（第一期）

期 間 | 2024年11月～2025年10月

日 程 | 全12回／毎月第1日曜日 ※1月のみ、第2日曜日 ※講師のご都合により一部変更になる可能性があります。

募集人数 | 25名

対 象 | 18歳以上

時 間 | 10:00～16:00（昼食付き）

受講料 | 月額22,000円×12回（通年コースのみ）

会 場 | 築田寺（東京都町田市忠生2丁目5-33）

募集期間：2024年6月1日～2024年9月末日

お申込み方法：こちらのリンク、または右のQRコードを読み込み、お申し込みください。

お問合せ先：yato@ryoudenji.net



500年の学校 ～おとなのためのフォルケホイスコーレ～

歩いたあとに道ができる。私たちの人生がふくよかになっていくための、多様なプログラム。



「500年の学校」講師陣

在本彌生 / フォトグラファー

コムアイ / アーティスト

斎藤紘良 / 築田寺 副住職、保育園理事、音楽家

斎藤美和 / 「しぜんの国保育園」園長

佐々木有美 / アーティスト・科学館職員

下中菜穂 / 造形作家 暮らしの手仕事・伝承行事研究

ソーヤー海 / 共生革命家

永井玲衣 / 哲学者

野村友里 / 料理人

宮田尚幸 / 風と地と木合同会社代表・ソーシャルデザイナー

・・・and more

※講師の実施月、年度は講師のご都合により一部変更になる可能性があります。

てつがく -
風の音、鳥の鳴き声。
自然の中でうまれる自分との対話

空白 -
じぶんの手で
創り出す
それぞれの時間

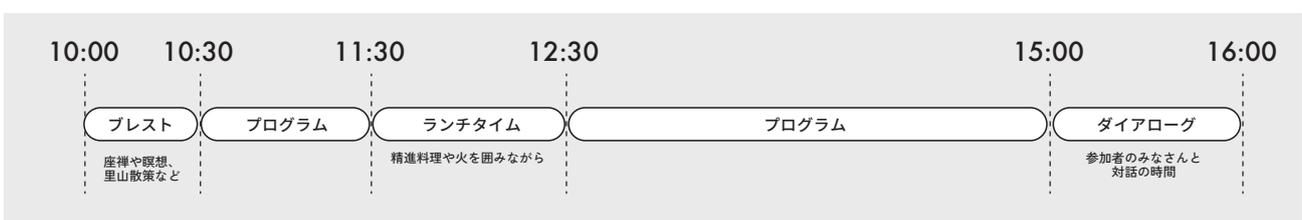
音楽 -
音を紡ぎ、重ねていく。
耳を澄ませ、響きを感じる。

自然 -
草花、生き物、太陽と月。
観察し、生かす工夫

からだ -
深い呼吸と循環のなかで
身体と心をほぐす

ものづくり -
植物、土、木材。
見て、触れて、心のまま手を動かす

講座の流れ（イメージ）



築田寺 × マザーディクショナリーが提案する 500年の学校とは



地域に根ざし開かれた寺院として文化・社会事業も行う築田寺が、持続可能な交流の循環と賑わいの創出を目指す「YATO プロジェクト」。アーティストとの多様なネットワークを持ち、幅広い世代へ向けた体験の提供と居場所づくりを通して「未来への種まき」をおこなってきたマザーディクショナリー。

重ねてきたご縁や経験を繋ぎ、より良い未来の可能性に向けた長期的な試みとして、デンマークを発祥として北欧に広がっている国民のための学校「フォルケホイスコーレ (Folkehøjskole)」の考え方を取り入れ、YATO プロジェクトの核となる「500年の学校」を立ち上げます。

- ・あなた自身になる、時間を過ごす
- ・人生の中に「余白の時間」を、自らの中に種を見つけ、育てる
- ・個性溢れる講師陣との触れ合いを通し、身体と心の感性をひらき、みみをすます
- ・これからをどう生きるか。さまざまな人生を生きる人たちと出会い、語らい、社会にとっての自分の役割を見つける

日常から離れた自然豊かな環境で、アート、哲学、食、自然、サステナビリティに触れ、ありのままの自分と、他者も社会も大切にできる心を育むプログラムの実践は、築田寺が目指す「思いやりのある人」が集い、より豊かで文化的な場所へと繋がって行きます。

フォルケホイスコーレ (Folkehøjskole) とは

デンマークを発祥として北欧に広がっている、国民のための学校です。

個人の個性と感性を育み、尊重することが国の豊かさに繋がることを信じて作られた仕組みのひとつ。「人生の学校」とも呼ばれるフォルケホイスコーレは、年齢、国籍を問わず誰でも入学できる制度を持ち、自分らしく生きるための寄り道、心の休憩時間となるような場です。



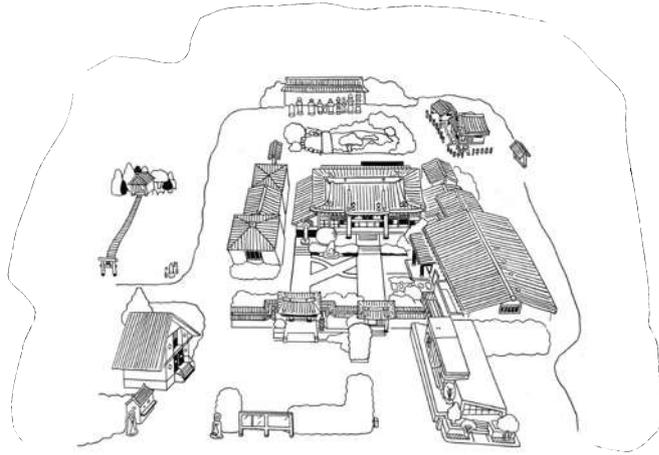
継続的なプログラムや、他者との対話(ダイアログ)、自己と向き合う体験を重ねることで、民主主義を育て、成績や評価という価値観ではない、人としての豊かな営みとはなにかを考える場として根付き、日本でも関心が高まっています。

ダイアログ (dialogue) とは

双方がお互いを尊重しながら安心して話しをすることで、相互理解を深め、行動や意識の変化を目指す創造的なコミュニケーション方法です。北欧のフォルケホイスコーレにおいても、この「対話」が非常に重要な役割を持ちます。

日本では、ダイアログの出来るファシリテーターの進行やルールに沿って、テーマをもうけて対話する体験の機会が増えてきています。自分の本来持っている言葉を共有し、同時に人の話を聞くことで互いの意見を尊重し合い、時に自分の意見を変化させ、学びを深めます。

築田寺について



境内



里山

東京都町田・忠生にある「築田寺」。江戸時代に建立され、閑静な森と、豊かな湧き水に恵まれた寺院です。広々とした境内には、寺を建立した築田家の墓所や、開創にまつわる伝説のある龍王ヶ池などが点在し、花や鳥、虫たちが季節の移ろいを知らせてくれます。日々の暮らしに向き合い、開かれた寺院であるために地域に根ざした寺院として、文化・社会事業も積極的にを行っています。寺院の周りは、ぐるりと里山が囲み、日々手入れをしながら、うつろう自然と共生しています。

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2丁目5-33

公共交通機関のアクセス：

小田急線「町田駅」西口の町田バスセンター3番乗場より「町33下山崎行」または「町32町34小山田桜台行」で20分。

バス停「山崎小学校前」または「忠生2丁目」で下車。そこから徒歩3～5分ほど。

<https://ryoudenji.net>

YATO プロジェクトについて

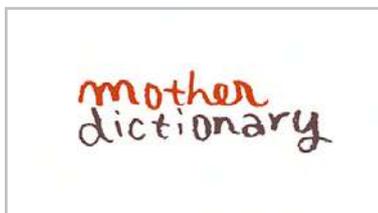


500年の common を考えるプロジェクト『YATO』

「谷戸」と呼ばれる、丘陵地が侵食されて形成された谷状の地形を持つ町田市忠生地域。「すべて、こども中心」を理念とする「しぜんの国保育園」や寺院を取り巻く里山一帯を舞台に、地域について学びながら、500年間続く人と場のあり方（=common）を考えるアートプロジェクト。アーティストや音楽家、自然環境や歴史などの専門家や地域の団体と連携し、次世代を担うこどもと大人と一緒に取り組む企画を行っています。

<https://yato500.net>

マザーディクショナリーについて



"より良い社会になるために私たちに出来ること"

私たちの取り組みは、人と文化と自然、それらをつなぐ場づくりと、未来に伝え残すべき技や想いのバトンを繋ぐ「未来への種まき」です。「かぞくのアトリエ」、「代官山ティーンズ・クリエイティブ」、「景丘の家」をはじめとする居場所づくりにまつわるノウハウ、「TRACING THE ROOTS」などのイベントや、ワークショップの企画、アーティストのマネジメントを通して、人と文化のつながりをさまざまな形でサポートしています。

<https://motherdictionary.com>

500年の学校

主 催：築田寺

企画・制作：株式会社マザーディクショナリー

協 力：合同会社めて

